

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

設備造作、建物附属設備、什器備品、ソフトウェア、長期前払費用……定額法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準について

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込み方式を採用している。

2 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	45,823,730	5,255,083	0	51,078,813
JARO50周年記念事業積立資産	8,000,000	4,000,000	0	12,000,000
合計	53,823,730	9,255,083	0	63,078,813

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
退職給付引当資産	51,078,813	(0)	(0)	(51,078,813)
JARO50周年記念事業積立資産	12,000,000	(0)	(12,000,000)	(0)
合計	63,078,813	(0)	(12,000,000)	(51,078,813)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
設備造作	5,184,490	2,940,558	2,243,932
建物附属設備	1,478,814	957,783	521,031
什器備品	3,348,104	3,348,099	5
ソフトウェア	7,971,420	5,637,349	2,334,071
長期前払費用	17,600,000	16,462,892	1,137,108
合計	35,582,828	29,346,681	6,236,147